



スノーテック・イノベーション キックオフ フォーラム

令和8年5月29日
新潟県産業労働部創業・イノベーション推進課

1 屋根雪下ろしの安全対策

- 「命綱固定アンカー普及促進事業」の制度拡充※
※要援護世帯の補助率1/2→9/10（県4.5/10 市町村4.5/10）など
- 安全啓発と連携した命綱固定アンカーの普及促進
- 屋根雪下ろし作業の安全啓発のため情報発信の強化

2 屋根雪下ろしに関わる人材確保・育成

- 平時における雪下ろし人材確保策の強化
- 災害時における雪処理の広域調整の取組強化

3 事故発生の抜本的解決に向けた新技術の開発・普及促進

- 「にいがた防災ステーション」を活用した技術・製品の導入促進
- 産学官連携「スノーテック・イノベーション」による新技術・新商品開発支援

今冬の豪雪による被害の概要

- ・ 今冬の雪による死者は過去10年で最多の25人となり、そのうち65歳以上の高齢者が占める割合は8割以上であった。また、雪による住家の被害も197件発生している。
- ・ 死亡要因は高所からの転落と疾病の発症が多く、一人作業が多いことから、事故発生の覚知が遅れ、死亡に至るケースも増えたと想定される。
- ・ 雪下ろし等除雪作業による死亡が最も多く、中でも高所からの転落が多い。
- ・ 積雪増の後に被害が増加する傾向があり、今冬は積雪が多い期間が比較的長かったため、死傷者数が多かった。

「にいがた防災ステーション」を活用した技術・製品の導入促進

県内で開発された新技術・製品等をはじめ、雪対策商品等を広く導入促進するため、県内防災イベント等でのPRを実施

《想定イベント》

- ・ 県総合防災訓練
- ・ 市町村防災訓練
- ・ 福祉介護健康フェア など

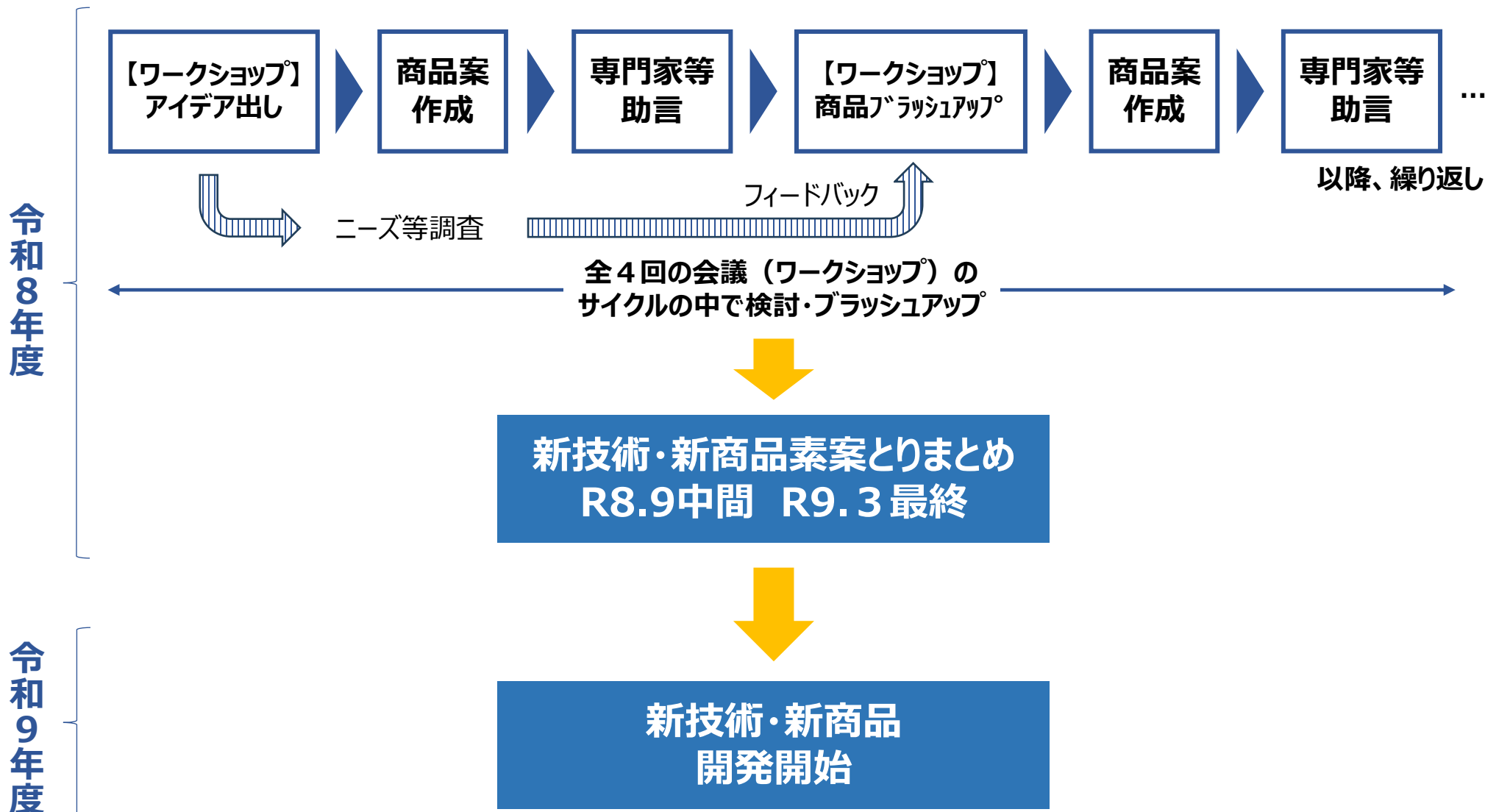
産学官連携「スノーテック・イノベーション」による新技術・新商品開発支援

雪害対策に関する調査分析を実施するとともに、企業・大学・自治体などの関係者を集めた検討会を開催し、新技術・新商品開発を促進

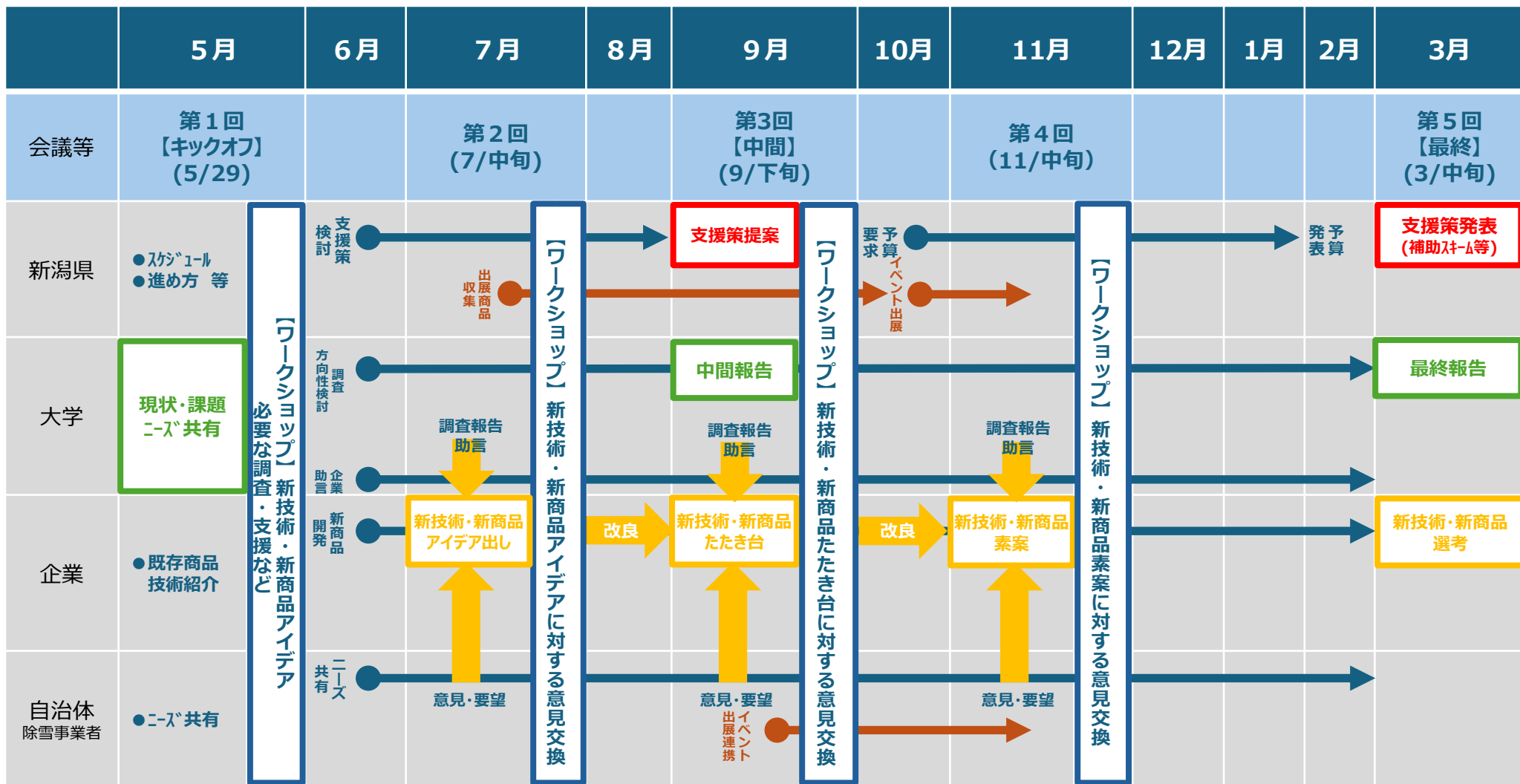
《調査分析・検討内容》

- ・ 雪害事故の要因
- ・ 雪対策分野における市場ニーズ
- ・ 新技術・新商品素案 など

プロジェクト進め方



ロードマップ



新技術・新商品開発方向性ヒント

除雪をテーマとして設定（道路除雪は除く）

CODE 1 除雪作業を不要とするアプローチ

（例：積もらせない・溶かす など）

====以下は、除雪作業を前提とした上で====

CODE 2 除雪作業の半自動化・効率化

（例：除雪ロボット、アシストスーツ など）

CODE 3 除雪作業の安全性向上

（例：ハーネスアンカー、落雪予測アプリ など）

CODE 4 除雪作業における事故発生時の救済

（例：転落・雪埋没時検知アプリ など）